

陳情第 17 号「第五世代移動通信システムの基地局設置に関する条例制定を求める陳情」については、基地局設置の制限など陳情の要旨が電波法に制限をかけることを求めるものであり、条例制定における自治体の載量を超えるものとして、不採択となりました。

* 第 2 部 予算特別委員会（建設局、経済観光局、スポーツ局、都市局）

質 問（石川 佐和子）	答 弁
<p>1. 北区あいの里・福移の森緑地のビオトープエリアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区あいの里・福移の森緑地のビオトープエリアは西側にはかつての石狩湿原の名残である篠路福移湿原が隣接しており、生物多様性の観点から重要な場所だが、草刈はしているものの、池の周囲ではヤナギやヨシなどが繁茂する一方であり、多様な生き物の生息空間にはなっていない。札幌市はビオトープエリアをどのような考え方で維持管理し、具体的にどのような作業を行っているのか。 ・今後のビオトープエリアについては、生き物の生息空間としての環境を保ちつつ、自然観察や環境学習が行いやすいように、身近にある貴重な自然環境を保全し市民が広く活用することができるように維持管理を進めていくべきと考えるがいかがか。 <p>2. ワークトライアル事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の就労については、新規学卒者の 3 人に 1 人が 3 年以内に離職する傾向が依然としてあり、職場への定着が課題となっている。新型コロナウイルス感染拡大により、採用活動のオンライン化や就業体験を実施する企業の減少等による影響が懸念されるが、どのような影響が生じ、今後どのように対応していくのか。 ・本事業の参加者の 76%が正社員就職ができた一方、正社員就職に結びつかなかった研修生に対し、原因を分析し支援を継続すべきと考えるが、今後どのようなフォローを行っていくのか。 <p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国のスポーツ基本計画の改定により、競技スポーツだけではなく、身体活動を伴うレジャーやレクレーションの他、ウォーキング、健康体操なども広くスポーツとして捉えられている。札幌市スポーツ推進計画では、20 歳以上の市民が週 1 回以上スポーツをする割合「スポーツ実施率」の目標値を 2022 年度で 65%としているが、スポーツ実施率の現状と認識について伺う。 ・新型コロナウイルス感染拡大への懸念がある中、市民は外出を控えており、スポーツの機会も減少している状況。高齢の方や障がいのある方が、一人ひとりの状況に合わせて運動に取り組みやすい環境整備やきっかけ作りも重要と考える。スポーツ実施率の目標達成をめざすとともに、より多くの市民がスポーツに親しめるように今後どのように取り組むのか。 <p>4.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の外灯は、2020年3月現在、水銀灯が約900基、ナトリウム灯が約570基あるとのこと。水銀灯については、「水銀に関する水俣条約」の発効に伴い、「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」が施行され、2020年12月末以降、製造や輸入・輸出が原則禁止されることになっている。大手メーカーは水銀灯の製造中止を表明し、ナトリウム灯もいつ生産が中止されてもおかしくない状況。市営住宅の水銀灯、ナトリウム灯をLED灯に計画的に切り替えるべきと考えるが、どのように対応しているのか。 ・LEDは省エネ効果が高いと言われており、消費電力量の削減により温室効果ガスの削減等に取り組むべきと考える。外灯のLED化を進めることで、どのくらいの省エネ効果があるのか。 	<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープエリアは、トンボなど動植物の生息空間として整備した経緯から、人為的な維持管理作業を極力抑えるという考えのもと、利用者の安全確保に必要な園路の周りにおいて年 1 回の草刈を行うなど、必要最低限の維持管理に留めているところ。また、人工池（トンボの池）については、人の手を加えずに自然の移り変わりに任せていることから、池の周囲については、整備当時には無かったヤナギやヨシが多く見られる状況となっている。 ・ビオトープエリアの今後の維持管理については、人工池はトンボなどの動植物に配慮して、今後も自然に任せた管理を行っていきたいと考えているところ。一方で、平成 26 年の造成完了から 6 年が経過し、園路から水面を観察しづらい状況も生まれている。このため、ビオトープエリアを利用される方々とも意見交換を行い、必要な改善を図っていききたい。 <p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年 5 月から実施した第 1 期の事業においては、職場実習の受け入れについて、感染症拡大の影響により、採用活動を控える企業が多かったことから、昨年 8 月の 275 社の登録に対し今年度は 191 社の登録と減少。特に、感染症拡大の影響が大きい飲食業や宿泊業などについては、登録企業が大きく減少しており、これらの企業への就職を目指す参加者については、希望する業界の変更やキャリアの転換を余儀なくされているところ。このため、9 月末時点の状況ではあるが、参加者の職場実習への実施率（75.9%）、就職決定率（61.1%）ともに、前年度実績を下回っている。今月から第 2 期の事業を開始するにあたり、職場実習の受け入れ企業を充実するため、経済団体等との連携や、就業サポートセンター等が保有する、受け入れに積極的な企業情報を活用するとともに、参加者に対しては、人手不足の職種を含め、幅広い求職活動を行えるよう、研修内容のさらなる工夫を行いながら事業に取り組んでいきたい。 ・本事業では、参加者個々の状況に応じたきめ細やかな支援を行っているが、参加者全員が正社員就職には結び付いていない。就職に至らなかった参加者については、本人の意向を踏まえた上で、就業サポートセンター等の伴走型支援窓口への誘導、他事業で実施する合同企業説明会等への参加の呼びかけのほか、受託事業者の自社事業による支援につなぐなど、求職活動が中断することのないよう取り組んでいる。今後も、就職に結び付かなかった原因を的確に分析し、関係機関との連携も強化しながら、事業終了後も参加者に寄り添った支援を行っていききたい。 <p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の札幌市のスポーツ実施率は 58.6%で、前年度から 4.4 ポイント上昇し、全国の平均である 53.6%と比較しても 5 ポイントほど高いものの、札幌市スポーツ推進計画の令和 4 年度末の目標である 65%に向けて、高めていく努力が必要。また、スポーツ実施率の調査結果から、20 代、30 代のスポーツ実施率が他の世代と比較して低いことが明らかとなったことから、一般的に仕事や子育てで忙しいと言われるこの世代に対し、時間がない中でも取り組めるスポーツについて発信していく必要があると認識。電車を一駅前で降りて歩くことや、勤め先の階段を上り下りすることも、気軽に取り組めるスポーツであることについて、具体的事例を紹介することで、時間がない中であってもスポーツに親しんでもらえるものとする。現在実施している各種の事業に加え、このような普及啓発を進めることで、スポーツ実施率の向上につなげていきたい。 ・コロナ禍においても多くの市民にスポーツに親しんでいただくためには、働く世代や子育て世代に加え、感染を警戒して外出を控える高齢者や障がいのある方へのアプローチが必要になるものと認識。これまででも、広報さっぽろや市役所公式ホームページにおいて、気軽に取り組める運動やウォーキング、障がい者スポーツの活動の場やイベント情報について発信してきた。また、各区が以前より印刷・配布しているウォーキングマップについて、今年度新聞に連続して取り上げられたことによって、市民の誰もが気軽に取り組めるスポーツとして改めて活用していただいている。このように、コロナ禍でも気軽に取り組めるスポーツの情報について、各区の保健センターや健康づくりセンターなどと連携しながら、様々な場面で効果的に発信することによって、多くの市民にスポーツに取り組んでいただき、スポーツ実施率を向上できるように努めていきたい。 <p>4.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水銀灯については、今年度から令和 5 年度まで、LED 化への計画的な改修を進めているところ。また、ナトリウム灯については、水銀灯の改修を終えたのち、順次改修を進める予定としており、質問にもあった通り地球温暖化計画に基づき令和 12 年度までに LED 化を図っていききたい。 ・外灯のLED化を進めることによる省エネ効果については、同程度の明るさを確保した場合、LEDは水銀灯比で 7 割、ナトリウム灯比で 6 割程度消費電力を削減することができる。全ての水銀灯を更新した場合の試算では、電気使用量が年間約 90万kwh（キロワットアワー）減となり、電気料金は年間約 2,100万円の削減が可能となる。また、二酸化炭素排出量としては、年間約 500トン削減が可能となる。最終的に水銀灯・ナトリウム灯全ての外灯を更新した場合では、電気使用量が年間約 120万 kwh（キロワットアワー）減となり、電気料金は年間 2,800万円の削減が可能。また、二酸化炭素排出量としては、年間約 700トン削減が可能となる。